

市販牛乳および乳飲料等における簡易型  
エンドトキシン測定システムの有用性酒見蓉子<sup>1)</sup> 高橋淳吉<sup>2)</sup> 船附清美<sup>3)</sup> 石原加奈子<sup>1)</sup>上野弘志<sup>1)</sup> 村松康和<sup>1)</sup> 田村 豊<sup>1)†</sup>

- 1) 酪農学園大学獣医学部 (〒069-8501 江別市文京台緑町582)
- 2) 和光純薬工業株式会社バイオメディカルシステム部 (〒103-0023 中央区日本橋本町4-5-13)
- 3) 日本チャールス・リバー株式会社リサーチモデルサービス部 (〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11階)

(2009年6月15日受付・2009年9月7日受理)

## 要 約

乳の品質管理に応用するために、合成基質法による簡易型エンドトキシン測定システムの有用性を検討した。市販の牛乳および乳飲料等を用いて、簡易型エンドトキシン測定システムと比濁時間分析法により乳中エンドトキシンを測定し、その相関と回帰を評価した。両測定法間で、エンドトキシン濃度値は強い正の相関 ( $R = 0.99$ ) を認め、その対数変換値において良好な回帰性を認めた。したがって、簡易型エンドトキシン測定システムは、牛乳および乳飲料等に含まれるエンドトキシンの測定が可能であると思われた。——キーワード：エンドトキシン，乳，品質管理。

----- 日獣会誌 63, 145～147 (2010)

† 連絡責任者：田村 豊 (酪農学園大学獣医学部獣医学科衛生・環境教育群食品衛生学ユニット)

〒069-8501 江別市文京台緑町582 ☎・FAX 011-388-4890 E-mail: tamuray@rakuno.ac.jp